

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

|           |           |   |              |     |
|-----------|-----------|---|--------------|-----|
| 受理番号      | 学 校       | 教 科   | 種 目          | 学 年 |
| 27-242    | 高等学校      | 外国語   | コミュニケーション英語Ⅱ |     |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名  |              |     |
| 177 増進堂   | コⅡ 346    | MAINSTREAM English Communication Ⅱ Second Edition |              |     |

### 1. 編修の基本方針

編纂に際しては、次の4点を基本方針とした。

- ① 学習指導要領並びに教育基本法第2条第1号から第5号の各号に書かれた目標を実現できるように、素材を厳選するとともに、各素材にその目標を達成するために有効な課題を用意すること。
- ② 生徒の多様な実態に応じて、弾力的な指導や学習ができるように、教科書と付属教材の両方に様々な工夫を盛り込み、教科書と付属教材との併用でも、また教科書のみでも、効果的な指導や学習が可能なように構成すること。
- ③ 本教科書を用いて指導しながら、多忙な教員でも、新しい指導法や指導技術を学ぶことができる「教師も学べる教科書」にすること。
- ④ ①～③のために、編著者たちのこれまでの多様な英語教育実践と英語教育研究の成果を適切に盛り込み、指導書等で詳しく解説すること。

### 2. 対照表

| 図書の構成・内容                    | 特に意を用いた点や特色  | 該当箇所      |
|-----------------------------|--|-----------|
| Chapter 3<br>教科書本文          | 杉原千畝のビザを発行するに至った、彼自身の思いや信念を読み取らせ、その考えを通じて豊かな情操と道徳心を培わせようとした。(第1号)<br>杉原千畝の幫助に対する甚大な努力が、多くの人々の人生を救ったという事実について読み取らせ、自他への敬愛や、協力を重んずる姿勢を学ばせようとした。(第3号) | 36頁～43頁   |
| Chapter 4<br>教科書本文          | リチャードファインマンに対する父親の対応や会話内容に触れ、いかに個人の価値を尊重し、その能力を伸ばそうとしているかについて読み取らせようとした。(第2号)  | 50頁～57頁   |
| Chapter 7<br>教科書本文          | チンパンジーと象の知性が素晴らしさについて読み取らせることで、生命を尊ぶ態度を養わせたい。(第4号)   | 100頁～107頁 |
| Chapter 8<br>教科書本文          | 日本の浮世絵が西洋画家に与えた影響力について読み取らせるとともに、絵画を通して他国への尊重の念を学ばせようとした。(第5号)   | 114頁～121頁 |
| Chapter 9<br>教科書本文          | ハチ失踪の現象について、その背景にある様々な因果関係について深く、広く考えさせ、その結果、生命の尊さや、自然、環境についても目を向けさせようとした。(第4号)  | 136頁～143頁 |
| Chapter 10<br>教科書本文         | パブロ・カザルスの平和への姿勢やその取り組みについて深く考えさせるとともに、生徒自身の自主及び自立の精神を養わせようとした。(第2号)  | 150頁～157頁 |
| Optional Reading 3<br>教科書本文 | 我が国の三大随筆と言われている徒然草を英文で読ませ、我が国の伝統と文化を重んじる心を学ばせたい。(第5号)  | 164頁～167頁 |

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

生徒にとって学びやすく、学び方も学ぶことができる教科書、教職経験が少ない教員でも一定レベル以上の指導が可能で、新しい指導法を学べる教科書を目指して、次のような工夫をした。

- ① 英語学習の基本と考えられる発音、フレーズリーディングの方法などを明示し、それらを用いて全 Chapter を学習できるようにした。
- ② 生徒が予習をする際、最低限何をすればよいかを明らかにした。  
本課の各パートでは、大まかな内容についての質問、細部についての質問などで、予習すべきポイントを明らかにした。
- ③ 本文をよりスムーズに学習できるようにした。  
文法事項は、各 Chapter の学習前に Target Grammar として、学ぶべき文法項目がどのようなものであるか本文を読む前に意識できる工夫をした。
- ④ スムーズな学習の流れとなるように工夫をした。  
難し過ぎると思われる語句や頻度が低い語句には注をつけ、同時にその語に＊を付記することで、すぐに脚注で確認できるように工夫をした。連語については、その意味を把握するのに助けとなるように、できるだけ状況が明確な例文などを臨機応変につけた。
- ⑤ 復習の方法を明らかにした。  
Comprehension では A では、本文全体の理解度を問う設問を設置し、再度本文全文を読むことで、再度各 Chapter の意味内容を把握できるよう工夫した。また、B では、Summary を完成させることで、本文の理解を段階的にはかることができる構成とした。
- ⑥ Vocabulary では、英語での表現力を広げ、より語彙力がつくように工夫した。また、Sound Training を入れることにより、音声面でもスキルアップができるように工夫した。
- ⑦ Grammar, Exercises での工夫  
指示文を英語にし、初出の表現には日本語を併記し、理解の助けとなるように工夫をした。設問ではクローズなものとおープンの設問を作成し、学んだ文法項目を使って、英文作成ができるようにした。また、作成した英文をクラスメートなどと意見を共有させる活動ができるよう工夫した。
- ⑧ Activity での工夫  
各 Chapter で学んだことに対して、より発展的に学習を深められるような設問とした。また、4技能を適宜取り入れ、効率よくスキルをのばすことができるよう設問の並びを考え、無理なく学習に取り組むことができるよう、設問は日本語にした。また、より現実に即したコミュニケーションがとれるように指示文も工夫した。
- ⑨ Optional Reading での工夫  
リーディングの能力を伸ばすことと、読書本来の「楽しさ」を生徒に経験してもらうために、本課の英文よりも平易で、おもしろく、感動的なものを厳選して Optional Reading として3編用意した。長編を短縮した場合は、場面をつなぐ英文を入れ、適宜注釈を付すなど、生徒が先を予想しながら読めるように工夫した。
- ⑩ 生徒の多様な実態に応じて弾力的な使用ができるように配慮した。  
各 Chapter の本文の指導は、付属教材に、フレーズリーディングが可能になるワークシートや、リスニングや音声ペースメーカーにしてリスニングしながら黙読する練習が行えるよう、本文を普通に朗読した音声教材と、フレーズリーディングのためのワークシートに入れられたスラッシュと同じ箇所ポーズ置いて朗読した音声教材の両方を用意している。また、Optional Reading は授業時間が不足した場合に、生徒の自学自習用教材として活用できるように配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| 受理番号      | 学校        | 教科  | 種目           | 学年 |
|-----------|-----------|---|--------------|----|
| 27-242    | 高等学校      | 外国語   | コミュニケーション英語Ⅱ |    |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名  |              |    |
| 177 増進堂   | コⅡ 346    | MAINSTREAM English Communication Ⅱ Second Edition |              |    |

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

生徒にとって学びやすく、学び方も学ぶことができる教科書、教職経験が少ない教員でも一定レベル以上の指導が可能で、新しい指導法を学べる教科書を目指して、次のような工夫をした。

◆ 本文をよりスムーズに学習できるようにした。

文法事項は、各 Chapter の学習前に Target Grammar として、学ぶべき文法項目がどのようなものであるか本文を読む前に意識できる工夫をした。

◆ 復習の方法を明らかにした。

Comprehension では A では、本文全体の理解度を問う設問を設置し、再度本文全文を読むことで、再度各 Chapter の意味内容を把握できるよう工夫した。また、B では、Summary を完成させることで、本文の理解を段階的にはかることができる構成とした。

◆ Grammar, Exercises での工夫

指示文を英語にし、初出の表現には日本語を併記し、理解の助けとなるように工夫をした。設問ではクローズなものとおープンの設問を作成し、学んだ文法項目を使って、英文作成ができるようにした。また、作成した英文をクラスメートなどと意見を共有させる活動ができるよう工夫した。

◆ Activity での工夫

各 Chapter で学んだことに対して、より発展的に学習を深められるような設問とした。また、4 技能を適宜取り入れ、効率よくスキルをのばすことができるよう設問の並びを考え、無理なく学習に取り組むことができるよう、設問は日本語にした。また、より現実に即したコミュニケーションがとれるように指示文も工夫した。

## 2. 対照表

| 図書構成・内容  | 学習指導要領の内容  | 該当箇所   | 配当<br>時数 |
|--|--|--|----------|
|  | 第3款第2コミュニケーション英語Ⅱ<br>2内容, 3内容の取扱い  |  |          |
| 発音記号の解説、音読のすすめ、要約文を書くコツ、多読のすすめ   | 2(2)ア, イ, ウ, エ   | 4,5,8,134,<br>168 頁                                | 1        |
| Chapter 1<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 9 頁<br>10-15 頁<br>16 頁<br>17 頁<br>18-19 頁<br>20 頁  | 5        |
| Chapter 2<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 21 頁<br>22-29 頁<br>30 頁<br>31 頁<br>32-33 頁<br>34 頁 | 7        |
| Chapter 3<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 35 頁<br>36-43 頁<br>44 頁<br>45 頁<br>46-47 頁<br>48 頁 | 7        |
| Chapter 4  |  |  | 6        |

|   |  |  |        |
|---|--|--|--------|
| Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity               | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 49 頁<br>50-57 頁<br>58 頁<br>59 頁<br>60-61 頁<br>62 頁         |        |
| Optional R. 1<br>数えられない名詞   | 2(1)ア, イ<br>3(2)   | 63-69 頁<br>70 頁  | 4<br>※ |
| Chapter 5<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity  | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 71 頁<br>72-79 頁<br>80 頁<br>81 頁<br>82-83 頁<br>84 頁         | 8      |
| Chapter 6<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity  | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 85 頁<br>86-93 頁<br>94 頁<br>95 頁<br>96-97 頁<br>98 頁         | 8      |
| Chapter 7<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity  | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 99 頁<br>100-107 頁<br>108 頁<br>109 頁<br>110-111 頁<br>112 頁  | 8      |
| Chapter 8<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity  | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 113 頁<br>114-121 頁<br>122 頁<br>123 頁<br>124-125 頁<br>126 頁 | 8      |
| Optional R. 2   | 2(1)ア, イ   | 127-133 頁  | 6      |
| Chapter 9<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity  | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 135 頁<br>136-143 頁<br>144 頁<br>145 頁<br>146-147 頁<br>148 頁 | 8      |
| Chapter 10<br>Warm-up / Target Grammar<br>Part 1-4<br>Comprehension<br>Vocabulary / Sound Training<br>Grammar / Exercises<br>Activity | 2(1)ア<br>2(1)ア, イ, ウ<br>2(1)ウ<br>2(2)ア, イ<br>2(1)ウ, エ<br>2(1)ウ, エ 2(2)エ 3(1),(2) | 149 頁<br>150-157 頁<br>158 頁<br>159 頁<br>160-161 頁<br>162 頁 | 8      |
| Optional R. 3   | 2(1)ア, イ   | 163-167 頁  | 6      |
| 分野別 Hot Topics  |  | 170-175 頁  | ※      |
|   |  | 計  | 90     |

※は各学校で弾力的運営を想定している。